



県各界功労表彰受賞を報告

国枝利樹さん（加納）、音訳の会そよかぜ

このほど、国枝利樹さん（加納）と音訳の会そよかぜが岐阜県各界功労表彰を受賞され、町長に報告をしました。

国枝利樹さんは、平成22年より町議会議員として地域の振興と住民自治の向上に寄与され、その功績に対してこのたびの受賞となりました。国枝さんは「この受賞は町民の皆さまのご支援のおかげと思っています。これからも頑張っていきたい」と話すと、町長は「長い間ご苦勞様です。引き続き、大野町のためによりしくお願いします」と述べました。

音訳の会そよかぜは、平成15年より目の不自由な人などのために、長年にわたり広報紙の音訳ボランティア活動を続けられており、その功績に対してこのたびの受賞となりました。音訳の会そよかぜの松久初子さんが「会員の皆さんの協力により続けることができました。アクセントなど正しく読むことに努めてきました」と話すと、町長は「長い間、広報紙の音訳をありがとうございました」と謝意を述べました。



▲受賞を報告した国枝さん（左）



▲受賞を報告した松久さん（左）



▲後藤代表取締役（左）と西こども園さくら組の園児

町の子育て支援のために

（株）東海プランニング 室内運動用具寄贈

5月30日、（株）東海プランニング 代表取締役 後藤大輔さんが、町の子育て支援に役立ててほしいと、公立認定こども園にとび箱と大型マット各2台を寄贈しました。

同社からは、町の発展を願って長年継続して寄付をいただいております。西こども園において、さくら組の園児が参加して贈呈式を開催しました。後藤代表取締役は「子どもたちに元気に育ってもらいたい」と話されると、町長は「継続して支援をいただき、大変ありがたい」とお礼を述べました。

子どもたちの図書のために

公益財団法人 だいしん緑化文化振興財団

5月12日、公益財団法人 だいしん緑化文化振興財団理事長の栗田順公さんが来庁し、青少年育成に役立つ図書の充実のために、現金30万円を寄付しました。

同財団はこれまでも町立図書館や中学校へ図書の寄贈を行っており、栗田理事長は「大野町の未来を担う子どもたちへの投資。ぜひ役立ててもらいたい」と話されると、町長は「今後も図書の充実に努めます。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



▲目録を手渡す栗田理事長（左）

長寿のお祝い

100歳おめでとうございます これからも健やかに

竹中 まさ彥さん（加納）
大正12年5月10日生まれ

95歳おめでとうございます これからも健やかに

高橋 はる榮さん（公郷）
昭和3年5月5日生まれ

渡邊 志づ彥さん（野）
昭和3年5月6日生まれ



▲高橋はる榮さん

色とりどりのバラに囲まれて

バラまつり大野2023

5月13日、14日にバラ公園にて「バラまつり大野2023」が開催され、各種イベントが行われました。

13日のオープニングでは、県立岐阜商業高等学校吹奏楽部による演奏が披露され、来園者に美しい音色を届けていました。14日は雨天にもかかわらず多くの人々が来園され、バラ苗講習会では、バラ育苗種家からバラ苗の育て方、維持管理方法のポイントを教わろうと定員を超える人が集まり、熱心にメモを取っていました。また、連日バラ苗販売コーナーも盛況で、数多くのバラ苗が並ぶ中、自分のお気に入りのバラ苗を選んでいました。町内や近隣市町だけでなく、県外から来られた多数の来園者で賑わい、満開の色とりどりのバラを楽しむ姿が見られました。



▲県岐商吹奏楽部による演奏



へようこそ!



◆◆◆ 道の駅「パレットピアおおの」内 子育てはうす ばすてるからのお知らせです。◆◆◆

5月3日(水)、4日(木)に『ゴールデンウィークワークショップ』を開催しました。

3日は「センサーボール」や「風船ボール」などの製作を、4日は「大きな鯉のぼり」の製作を行いました。それぞれ工夫を凝らした製作物が完成しました。作ったおもちゃを使って親子で遊んでいる様子がみられ、とても楽しそうでした。両日とも多くの人に参加いただき、親子の交流を深める時間になったと思います。



▲風船ボールで遊ぶ様子



▲鯉のぼりづくりの様子

◎7月のスケジュール(予定)

ピヨピヨ
クラブ

ふたばクラス…11日(火)
みつばクラス…6日(木)、13日(木)
よつばクラス…14日(金)

誕生会…24日(月) ころこ相談…3日(月)

休館日 5日(水)、12日(水)、18日(火)、19日(水)、26日(水)

※スケジュール内容は、変更する場合があります。また、詳しい内容は、ばすてるへおたずねください。

問合せ先 子育てはうす ばすてる ☎ 34-1010

北見市
ところ通信
Vol. 281

ところ花のまちづくり実行委員会が花植え — 赤色や黄色、白色の花々で彩り豊かに —

6月4日、ところ花のまちづくり実行委員会やボランティアの方たちが国道や道道沿いの花壇4カ所にサルビアやマリーゴールド、ガゼニアなどの花苗約4,300株を植えました。

参加者は、花の配置を確かめながら1株1株丁寧に苗を定植。9月までボランティアの協力を受け管理する花壇の花々は、これから満開を迎え沿道の人の目を楽しませます。

